



カーボンニュートラルプロジェクト

山口県立宇部工業高等学校
教頭 春日 貴江

山口県は、全国有数の工業県であり、産業部門の温室効果ガス排出割合は高い水準にあります。脱炭素化を求めるグローバルな動向は不可避の課題であり、「やまぐち産業脱炭素化戦略」、「山口県地球温暖化対策実行計画」に基づき、カーボンニュートラルの実現に向けて様々な取組が進められています。

本校は、大正9年に創立され、今年103年目を迎える工業高校です。地域の産業を支える人材を育成する学校として、地域とともに歩み卒業生は2万3千人を超えています。現在は、機械科、電子機械科、電気科、化学工業科の4学科が設置され、全日制385名、定時制6名の生徒が勉学に励んでいます。

近年、地元企業から多くの求人を頂く一方で、入学志願者は減少しています。ものづくり産業を支える人材を育成し地域に貢献し続けるため、教育課程の見直しも継続して行っています。

今年度は、山口県教育委員会の指定を受け、カーボンニュートラルの実現を担う人材の育成を図るための事業「カーボンニュートラルプロジェクト」に化学工業科2年生が取り組んでいます。生徒は、教科「地球環境化学」で、化学技術を活用した地球の環境保全について学んでいますが、最新技術に触れる機会が乏しく、身近な問題として捉えることができていませんでした。そこで、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー機器を製造する企業と連携し、工場見学や企業

からの出前授業、体験実習等、実践的・体験的な学習活動を行うこととしました。生徒は、この活動により、脱炭素社会への理解を深め、課題を発見し、環境保全・工業技術の進展に主体的に取り組む態度を身に付けています。

今後も、学校全体でカーボンニュートラルの実現、地域・社会を支え産業の持続的な発展を担う人材の育成を目指した教育活動に努めて参りますので、本校教育に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



工場見学



体験実習



イベントのお知らせ

第1回ESD研修会

『SDGs未来都市における人づくりの重要性』

- ・日時：2023年12月9日（土）14:30～16:30
- ・場所：宇部市総合福祉会館
3階講座室(対面・オンライン)

QRコード
申込どうぞ



「宇部市における環境教育の現状と課題」
村岡和弘（宇部市市民環境部次長）
「宇部工業高校におけるESD教育を振り返る」
大濱進治（宇部工業高校教諭）

- ・参加費 200円（資料代、高校生以下無料）
- ・申込：ubekuru@gmail.com TEL:0836-39-8110
氏名、電話、対面・オンラインの別

銀天カタリバに参加しませんか！

自分の考えを本音で語り合い、
こんな考えもあるのかと
共感したり、互いに学びの機会
とするものです。



案内ブログは
こちら



特別サロン2 講演及び高校生等成果発表会

- ・日時：2024年1月20日（土）14:00～16:30
- ・場所：宇部市総合福祉会館2階交流大ホール

☆講演：山口 真悟（山口大学工学部知能工学科 教授）
「高度情報化社会をどう生きる～情報リテラシーについて～」
・対面とオンライン ・参加費：無料

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

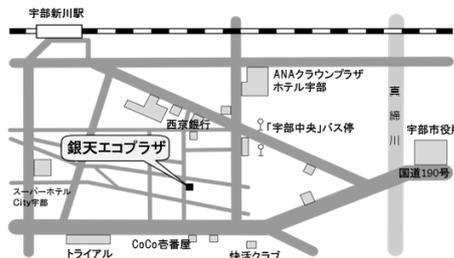
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始（12月29日～1月3日）



HomePage



facebook



twitter



NPO 法人うべ環境コミュニティー

たくさんのイベントとちょっぴりの涙 ～アクトビレッジおのの姫より～

アクトビレッジおの 富田 誉子

今年でアクトビレッジおのは開設して15年目を迎えました。2008年宇部市の小野地区に環境学習施設としてオープンし、以後指定管理団体により運営されています。5年ごとに変わる団体により様々な主催事業・イベント等が行われてきました。

開設当初から自然体験型環境学習を宇部市内の小学3年生向けに行っており、小野地区にある茶畑を利用したお茶の勉強、茶摘み、製茶体験を行っています。また宇部市の水瓶でもある小野湖でカヌーやEボート体験を行い、なぜダム湖(厚東川ダム)ができたのかをはじめ、自分たちの口に入る水について学ぶ機会になっています。

5月には宇部市農業振興課による「お茶まつり」、10月には「小野湖交流ボート大会」を毎年開催しており、小野に足を運んでいただき自然とも触れ合っていたり機会になっています。

その他にもご利用者の中には小野湖のロケーションが気持ちいいからと音楽会やよさこいイベント、釣りイベント等を行われる方もおられ、多彩にご利用いただいています。

さらにアクトビレッジおのには施設の一角でハーブガーデンを整備・お手入れしてくださってるボランティアグループのサウスバーム部会があります。サウスバームの皆さんは開設当初から「土と触れる・草花と触れる」ことを実践しておられ、環境学習施設としての一翼を任めています。現在会員募集中です。ご興味のある方はぜひアクトビレッジおの(64-5111)までご連絡ください。

こんなアクトビレッジおのですが1か月前に、宇部自然保護協会主催で行われた活動団体や地域ボランティアによる小野湖清掃では、空のペットボトルや大きな洗剤の容器など水辺や山間部とは思えないようなごみがたく

さん出てきました。一見美しく見える小野湖にも自然環境にダメージを与える影が潜んでいました。あらためてアクトビレッジおのの役割を痛感した出来事でした。



小学生も小野湖でカヌー体験



小野の茶畑見学、茶摘み体験も



小野湖上空から

カーボンニュートラル

長州産業株式会社 総務部総務課
上村猛、野村詩穂

1980年(昭和55年)10月8日、山口県山陽小野田市に誕生した当社は、住宅関連機器の製造・販売からスタートしました。設立当初は、太陽熱温水器から始まり、その後、住宅関連機器事業の主力商品は、環境問題やエネルギー問題への時流に対応するため、給湯機器から太陽光発電システム・蓄電システムへ変遷していきました。今では、新しいエネルギーとして水素やバイオマス事業も展開しています。

時代の変化と共に、世の中へ求められることに対応していくこと、これは企業だけではなく、私たち国民1人1人にとっても大切な事だと思えます。2050年へ向けた「カーボンニュートラル」実現に向けて「聞いたことはあるけれど、何をすればいいのかわからない」そういった方は多いのではないのでしょうか? 私自身もその1人でした。「カーボンニュートラルプロジェクト」は、そんな私たちにとって良い『きっかけ』だと感じています。私たち長州産業は、宇部工業高等学校の生徒の皆さんとプロジェクトを行う中で、「これからの未来のために、

今の私たちにできること」を一緒に考えています。当社の事業である「太陽光発電システム」「水素発電」「バイオマス事業」など、あらゆる再生可能エネルギーへ着目し、見学や授業、実習を通じて、未来への可能性を検討します。学校や公共の場に再生可能エネルギーに関する設備を導入する提案など、一緒に考えていく中で、少しでも「カーボンニュートラル」実現に向けた未来へ近づくことができるよう、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

